物価高を乗り越える、経済と社会保障を構築

やると言ったら、やり切る。

長引く物価高、急速に進む少子高齢化――難局の打開に向けて、
公明党は「**物価高を乗り越える、経済と社会保障の構築**」を成し遂げます。
そのために、最も重要な対策である「**物価高を上回る賃上げ**」を進めながら、
当面は「**減税**」も「**給付**」も総動員して国民生活を下支えします。
また、**社会保障**を充実させて将来への安心につなげます。
一人一人の豊かな生活と希望を持てる社会の実現へ、
公明党は皆さまにお約束します。「**やると言ったら、やり切る。**」

減税も給付も総動員で

特に影響が大きいエネルギー・食料品の高騰に対応

◎年末に、99%の納税者が対象となる**２万～４万円**の所得税減税を実施（2025年度税制改正で決定）。さらなる負担軽減に向け、今後、物価上昇などに応じて基礎控除などの額を引き上げる仕組みを構築
◎夏の電気・ガス代を軽減。ガソリンは補助金で価格を引き下げ、いわゆる**暫定税率**(1㍑25.1円)**は年末の協議で廃止時期を決定**
◎税収増などを活用し、食料品の高騰分に対応する額として、18歳以下の子どもと、今年度の所得税減税の恩恵を受けられない住民税非課税世帯には１人４万円を給付。そのほかの人には、１人２万円を給付。両親と子ども２人の４人家族なら計12万円

現役世代の所得を増やす

雇用の７割を占める中小企業を徹底支援。「奨学金減税」創設も

◎価格転嫁などによる取引適正化を徹底。**５年間で60兆円の投資**を行い、中小企業の生産性向上を後押し
◎最低賃金を2020年代に**全国平均1500円**まで引き上げ、中間所得層も含めた給料アップにつなげる
◎奨学金返済負担の軽減へ、減額返還制度や代理返還制度を拡充。返済額の一定割合を所得控除できる「奨学金減税」創設も
◎労働者の健康を第一に、本人の希望に応じて「もう少し働ける」ように労働時間ルールの見直しや柔軟な働き方を推進
◎医療・介護・保育・物流・建設などの仕事に従事する**エッセンシャルワーカーの所得向上**

社会保障を充実

生活を支える基盤を強化

◎**妊娠・出産にかかる基礎的費用を無償化**。不登校の子どもへの支援や、放課後の子どもの居場所づくりも
◎**全ての人に共通する基礎年金の給付水準を底上げ**。高齢者が働きやすい環境を整備
◎重症化予防などで健康寿命を延ばし、医療DXも推進して医療費を抑え、**社会保険料の上昇を抑制**
◎貸家で暮らす低所得者や子育て世帯の家賃を補助する新たな「**住宅手当**」制度の創設をめざす

公明党はこの7人をはじめ参院選比例区に17人を公認しています。

※年齢は選挙期日現在

佐々木 まさふみ（ささき） 新
党青年局次長。弁護士、税理士。関西創価高校、東北大学経済学部卒、創価大学法科大学院修了。愛媛県出身。44歳。

平木 だいさく（ひらき） 現2
党関東方面本部長、同経済産業部会長。元復興副大臣。元経産大臣政務官。参院議員2期。経営学修士。東京大学卒。50歳。

新妻 ひでき（にいづま） 現2
党中央幹事、同国際委員長。参院議員２期。東京大学大学院修士課程修了。技術士（航空・宇宙部門など）。54歳。

つかさ 隆史（たかし） 新
党青年局次長、同関西方面本部青年会議議長。大阪市議1期。京都大学大学院博士後期課程研究指導認定退学。45歳。

原田 大二郎（はらだ だいじろう） 新
党青年局次長。愛媛大学卒、岡山大学大学院博士課程修了。医学博士。四国がんセンター元呼吸器内科医長。47歳。

かわの 義博（よしひろ） 現2
党中央幹事、同青年副委員長。元農林水産大臣政務官。剣道教士七段。参院議員2期。慶応義塾大学卒。47歳。

塩田 ひろあき（しおた） 現1
党中央幹事、同東京都本部副代表、同国土交通部会長代理。参院災害対策特別委員長。参院議員1期。秋田大学卒。63歳。

斉藤代表

公明党

これも提案！

◎「**財源を探す国から、財源を生み出す国へ**」日本版「ソブリン・ウェルス・ファンド（政府系ファンド）」の創設をめざします
◎コメの安定供給と価格抑制に向け、公明党は備蓄米の活用に道を開き、店頭価格の引き下げに努めてきました。今後も、**適正価格での流通や増産、生産者支援**に取り組みます
◎インフラ老朽化対策の強化など防災・減災対策を強力に進めます

比例区の投票用紙には、公明党の候補者名または公明党と、お書き下さい。

略称は公明（こうめい）

公明党の参院選重点政策や、
重要政策課題に対する考え方はこちらから